

科目名	バリアフリーデザイン論	英語科目名	Barrier Free Designing
開講年度・学期	平成22年度・後期	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻(建築学コース)2年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2単位	単位種類	学修単位(15+30)h
担当教員	瀧澤雄三	居室(もしくは所属)	建築学科棟3階
電話	0285-20-2830	E-mail	takizawa@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 基本的な障害者関連用語、バリアフリー関連用語を説明できること。			
2. 障害とその行動特性を理解し、説明できること。			
3. 住宅を対象に、バリアフリーデザインの考え方、計画方法を理解し、説明できること。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1~3. 課題に対する提出レポートの内容を設定基準で評価し、60%以上を達成とする。			
評価方法			
評価は随時提出させるレポートとその内容の理解度により評価する。			
なお、原則として正当な理由なく3回以上欠席した場合は単位の認定はしないので注意すること。			
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
1. ガイダンス	バリアフリー関連用語に関する課題		4
2. 障害者とは。ハンディキャプトとは	障害者の分類等に関する課題		4
3. 障害とその行動特性(1)	障害とその特性に関する課題①		4
4. 障害とその行動特性(2)	障害とその特性に関する課題②		4
5. 障害と福祉用具1(杖、歩行器、リフト等)	各種福祉用具に関する課題①		4
6. 障害と福祉用具2(段差解消、EV、入浴等)	各種福祉用具に関する課題②		4
7. 住環境整備計画1(床、段差等)	床、段差等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
8. 住環境整備計画2(手すり、空間)	手すり、空間等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
9. 住環境整備計画3(建具、収納等)	建具、収納等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
10. 住環境整備計画4(移動、入浴等)	移動、入浴等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
11. 住環境整備計画5(排泄、調理、食事等)	排泄、調理、食事等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
12. 住環境整備計画6(寝る、団らん、清掃、洗濯等)	寝る、団らん、清掃、洗濯等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
13. 住環境整備計画7(庭、外出等)	庭、外出等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
14. 住環境整備計画8(設備:スイッチ、照明、浴室、トイレ等)	スイッチ、照明、浴室、トイレ等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
15. 住環境整備計画9(エアコン、換気、調理、家具等)	エアコン、換気、調理、家具等のバリアフリーの考え方と方法に関する課題		4
自学自習時間合計			60
キーワード	高齢者、障害者、空間、配慮、計画、設計		
教科書	特になし。必要に応じ随時プリント等を配布。		
参考書	バリアフリーの生活環境論(医歯薬出版)、高齢者・障害者のための住居改善(学芸出版社)、高齢者のための建築環境(日本建築学会) その他		
小山高専の教育方針①~⑥との対応	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(A-1)科学や工学の基本的知識を身につける			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(2-a)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築計画Ⅰ、建築計画Ⅱ、建築計画Ⅲ、地域施設計画論、地域設計1、まちづくり論		
現学年の関連科目	居住地計画論		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
1. 毎回出す課題は必ず自分で調べ、レポートとして提出すること。			
2. レポートは文献の写しではなく、必ず自分の言葉で書くこと。			
3. この毎回出す課題をやってこない講義についていけないので、必ず調べて、その内容を十分理解した上で授業に臨むこと。			
シラバス作成年月日	平成22年2月22日		